

DEI と財団寄付

国際ロータリー第 2580 地区

2024-25 年度ガバナー

石川 彌八郎



2月27日(木)に開催された東京四谷ロータリークラブ創立40周年記念例会・祝賀会にて、同クラブ曾我祐二郎会長(左)と廣本慶一40周年実行委員長(右)と記念撮影。

各クラブの会長の皆様 お元気ですか。

さて、昨年僕が参加した米国フロリダ州、オーランドで開催されたガバナー研修では、スティファニー・アーチック RI 会長は DEI を強く語っていましたが、先日、同研修を終えてアメリカから帰国した中川ガバナーエレクトは「今年は DEI など一言も出なかった」と言っていました。結果として突然方針が変わってしまったのですが、我々ガバナーは、それに従い「ハイ」と答えて、その方針を各地区に伝えることが務めです。継続性が必要なので「3年間の計画を立てなさい」と言われれば、「YES」と答え、一方で去年までは過熱していた DEI が急に冷めても、その方針転換を「喜んで」と受け入れる。なるほど、これがロータリーのいう所の、「ハイカイエスか喜んで、だったのですね」と聞かれたら、何と答えるこの苦笑い。

若山牧水の「それほどにうまさかとひとの問ひたらば、何と答へむこの酒の味」、これも一つの苦笑い。

前述の通り、将来「DEI はロータリーの遠い過去の考え方であった」ということになる可能性もありますが、少なくとも石川年度では(栃木年度もそうですが) DEI を強く叩き込まれました。仮にも6月までは石川年度ですので、今ならまだ「なに DEI ? まだそんな古臭いこと言っているの?」とは言われないので、今年度のうちに DEI について触れておきます。

DEI とは、ダイバーシティ、エクイティー、インクルージョン (Diversity, Equity, Inclusion) の頭文字で、多様性、公平性、包括性となります。

今日は、エクイティー、公平性と財団寄付について考えます。

ここでいう公平性と言うのは、たとえてみればこんな話です。荷物が沢山ありました。運ぶ人は 100 人です。100 で割ったら、一人 23kg になりました。ここまでは計算上の数値です。しかしその 100 人の中には、生れたばかりの赤ちゃんから 90 歳のご老人、しかも男女混合。さて、皆にみんなに均等に 23kg を背負わせたらどうなるでしょうか。生まれたばかりの赤ちゃんに 23kg の荷物を乗せたらどうなります? 死

んでしまいますよ。ですので、若くて元気な人はそれなりに、お年寄りや女性はそれなりに、皆で上手に分担して、すべての荷物を効率的に運びましょう。この考えが DEI の E、つまり「公平性」です。

ここで考えたいのは「平均の誤謬」です。僕は妻からよく「もっと普通になってください」と言われます。言い換えれば「もっと平均的になってください」と言うことです。「普通のロータリアンは、そんな髪型はしていません。もっと平均的な髪の長さにしてください」ということですが、ところが、意外にも平均的な人と言うのは、実はなかなか存在しないのです。

1940 年代アメリカ空軍で事故が多発しました。原因を調べた結果、ある仮説が生まれました。「コック

ピットのサイズがパイロットの体格に合っていないのでは？」。当時のコックピットは数十年前のアメリカ人の体格に合わせて作ったもので、体格が良くなった現代のアメリカ人には合わないのではないか、という仮説です。そこで、パイロット約4000人の身体サイズの調査に入りました。測定項目は体重、身長、座高等はもちろん、各指の長さまで140項目に及びました。そこで、コックピットのサイズに大きく関係する、身長、胸囲、座高など10項目を選び、その10項目のそれぞれの平均値を算出し、その平均の30%に入る「平均的体格」のパイロットが何%いるかを調べました。例えば、平均身長が180センチであれば、175～185センチ。平均体重が75キロであれば70～80キロ。そんな具合です。平均ジャストではなく、最大最小の30%を除いた、中心部の35%に入る体格を持つパイロットの割合を調べたのです。さて、その中に該当する体格を持つパイロットは一体全体の何割いたでしょうか。少なくとも1割、多ければ3割、そう考えますよね。実は予測よりはるかに低く。数%、いやもっと少なく1%、いや、もっと少なくゼロだったのです。つまり「平均的な体格を持つパイロットは存在しない」が結論でした。「普通の人、珍しかった」「普通の人、普通はない」と言う、なんか良くわからない事になってしまいました。ということです。

意外かと思いますが、よく考えれば納得できます。例えば、ある人が米寿のお祝いをしました。招待客は100人。ご祝儀の平均は23000円でした。ここまでは理解できます。ではその100人の中に23000円ジャストを包んだ人は何人いたでしょうか。普通はいませんよね。ほとんどの人が2万円か3万円を包んだ結果、平均が23000円だっただけなのです。「平均的な人は、普通はしないのです」

これを「平均的に振舞いなさい」と言われて、23000円包んでいったら、逆に、「あの人変わっているわ、普通ではない」と評価されます。平均的と普通は実は微妙に異なるようです。

ついでのなでもう一つ「平均の誤謬」を話します。我々が旅行や移住を考えたとき、行き先の気候は気になりますよね。その国の平均気温を調べたら20℃。「これは過ごしやすそうだ。ここにしよう」と思ったところ、良く調べたら、実はその国は春と秋がなく、夏と冬だけで、夏場の半年は40℃。その後は急に冬になり、後の半年は0℃。確かに平均気温は20℃ですが、全然過ごしやすいいとは言えませんよね。

さて、ここで財団寄付の話です。230ドルを目標としていますが、これはあくまで「平均です」。皆がみんな、230ドルちょうどの寄付であったとしたら、それこそ普通ではない、そんな団体は異常な人の集まりなので今すぐ退会すべきでしょう。

ここで、DEIの荷物運びの話に戻ります。若くて元気な人もいます。お年寄りもいます。あくまで平均で23キロです。我々の会社もいろいろな場面を迎えます。決算が良い時もあれば悪い時もあります。つまり、晴れの日もあれば雪の日もあるのです。それに応じて寄付をして、結果の平均が230ドルであればよいのです。

雪の日には「不要不急の外出は避けましょう」と言いますよね。決算が悪い時は「不要不急の支出は避けるべきです」。無理をすると、怪我や事故の原因となります。逆に、ポカポカ陽気の日和には、どんどん外出しましょう。500ドルでも1000ドルでも寄付してください。結果として平均が230ドルであればよいのです。

RIがあんなに強く言っていたDEIが急にトーンダウンしてしまったということは、帰納的に考えると、ポリオ根絶活動も、ある年突然トーンダウンする可能性も完全否定はできません。もしRIが突然ポリオ根絶活動の中止を宣言したらどうなるでしょうか。「何でもいまさらやめるのだ、今までの俺たちの努力はどうなるのか。最後の最後の最後まで、俺たちはポリオと戦うのだ、何が何でも頑張るべきだ。」を訴える終結反対派。一方で「根絶なんて、どうせ無理だと思っていた。表向きには大きな声では言えないので黙っていたけど、賢明な判断だ。」と言う賛成派。まるで80年前の終戦をめぐる「日本で一番長い日」のような、「本土決戦派」と「無条件降伏派」の、あるいはその後ブラジルで生じた「勝ち組・負け組」のような、そんな騒動が起こるかもしれません。

騒動が起ころうが起こるまいが、その時のRIの方針を各地区に伝える。それがガバナーの役目です。その時はその時で、それに従う、つまり「何が出るか、振ってみなければわからない、出たらその目に従う。『出たら、目に従う』。そう考えると、ガバナーの役目は僕に向いていたのかもしれないね。

RIの方針がどのようであっても、最も重要なことは、それを受けて各クラブで独自の方針を定め活動することです。会長の皆さん、クラブで深く議論してください。追伸

「平均の誤謬」というと、ベトナム戦争時代の「マクナマラの誤謬」を思い出します。

「マクナマラの誤謬」とは、数字にばかりこだわり、物事の本質を見失ってしまうことです。

例えば、

- ・ある病院は、術後の死者数を減らすことを目標とした。その結果、重症患者を受け入れることをやめた。
- ・ある警察は、検挙率を上げることを目標とした。そ

の結果、軽犯罪ばかり取り締まり、重犯罪は増えてしまった。

各クラブの会員数増加、拡大に関しても「マクナマラの誤謬」には気を付けるべきと考えます。数値にとらわれずに、本質を見極めてください。

こちらも同様に、クラブ内でよく議論してください。

当地区全クラブの会長プロフィールを順次掲載しています。

—「隔たりを取り除き“ご縁”を大切に」なさってください。—



宮林 孝治

所属：コザ

皆さま、始めまして。2024-25年度コザロータリークラブ第63代会長を務めます宮林孝治です。東京都稲城市出身、都立府中西高等学校卒業。現在は株式会社楽フードサービス・株式会社 aquarecte の2社の代表取締役として、沖縄の食文化の発展に尽力しています。また、酒販店「宮林商店」は沖縄唯一の石川酒造特約店として、石川ガバナーの銘酒を販売。食と酒を楽しむことが高じて沖縄に移住し。気づけば体重40kg増加。その結果、会長会では「63代横綱」と呼ばれる始末（笑）。最近、趣味がダイエット、特技がリバウンドであることに気づきました。そんな私ですが、本年度のロータリー活動では、「隔たりを取り除き、“ご縁”を大切に」というテーマのもと、会員同士の絆を深め、地域社会とのつながりをより一層強化したいと考えています。美味しいものとお酒、素晴らしいご縁を大切にしながら、皆さまと楽しく活動ができればと思います。



宮城 早人

所属：石垣

石垣ロータリークラブは1962年創立、沖縄分区で2番目、2580地区で11番目に設立された64周年を迎える実は古い歴史と伝統を誇りながらも日本最南端のロータリークラブです。父辰雄は第27代会長、私が第64代会長を仰せつかり親子二代の会長職のバトンを引き継ぎました。これまでの輝かしい歴史を築き育てて下さった歴代会長・役員の皆様の功績を思うとその責任の重さに身が引き締まります。残り僅かな任期ですがしっかりと務めさせていただこうと思います。私は1965年1月生まれで、今年1月に還暦を迎えましたが、石川ガバナーとはどうやら同学年であり、深い「ご縁」を感じます。去った2025年2月7日の沖縄分区IMにおける懇親会では石垣RC代表として私と大田会員と私の息子と弟との4名で結成したビートルズバンドが沖縄分区各クラブの余興の最後のトリとして出演させていただき、最後は石川ガバナーと共にステージに立ちロックンロールナンバー「ジョニーBグッド」を演奏しました。すると、会場の沖縄分区の数多くのロータリアンがステージ前やステージ上で、大興奮で踊っていただけました。人生の中で最も輝かしく嬉しく誇らしい一コマとなりました。2580地区万歳！沖縄分区万歳！石川ガバナー万歳！そして石川ガバナーに感謝！私たちには時にパンチの効いたロックンロールに酔いしれてリフレッシュすることも必要ですね。（笑）



鈴木 一行

所属：東京神田

本年度東京神田RCの会長を仰せつかっております鈴木一行と申します。RCに入会してからまだ15年しか経っておりませんが、多くのロータリアンとも知り合えまして、お陰様で楽しいクラブライフを送っております。特にバギオ基金の活動に参加させていただいていますのは、ロータリーから良いご縁をいただいたと思っております。仕事は出版社を営んでおまして、検定教科書や辞典の出版をしております。趣味はドライブと旅行でして、国際大会にはできるだけ参加しております。また、コロナ禍以前は地方のクラブへのメイクアップにも伺っておりました。最近では少なくなりましたが、今年度はご縁を大切にできるだけ伺おうと思っております。



森 清正

所属：東京江戸川

1954年生まれの71歳、昭和40年創業の森賛自動車株式会社の二代目です。「お客の身になれ」先代の教えを守り、近くに江戸川が流れる「東京の端っこ」で60年以上にわたって自動車整備業を営み、「車の町医者」として近隣の自動車ユーザー、法人車両の点検整備などを手がけています。ロータリー入会前の奉仕活動としては、20代の頃から江戸川消防団一筋でした。しかし、2008年に当クラブのフィリピンへ消防車の寄贈の際に消防団および自動車整備業としてWCS（世界社会奉仕活動）をお手伝いする機会に触れました。奉仕活動が地元地域から世界規模となりました。そのご縁を頂いた時から「いつかはロータリー」と避けられない運命を感じ、また父もロータリアンであったため、消防団を退団後2009年に入会する運びとなりました。それから15年が過ぎ、当クラブは創立61年を迎えました。今は先人達が磨き築き上げてきた歴史と伝統を大切にしながら新たな一步を前進できるよう臨んでおります。



大澤 栄一

所属：東京江東

今年4月で満25年を迎える弁護士です。事件終了時に依頼者から「会えて良かった」と言われ、お互いに涙する 때가 弁護士冥利に尽きる瞬間です。趣味は中日ドラゴンズの応援です。東京ドームや神宮球場には度々出没します。沖縄での地区大会が楽しみです。キャンプを観に行きやすいので（笑）。ゴルフはやる気はなかったのですが、数年前の分区ゴルフ大会に役員として参加した際の皆さんの楽しそうな姿を見てやってみたくなり、当クラブの仲間へ誘われ、デビューを果たしました！下手くそですが楽しんでます。さて、障がいをもったお子さんたちが主役になる、当クラブの金看板「イースト21社会福祉フェスティバル」を6月7日に開催します。是非足を運んでください！



菊地 裕美

所属：東京小平

⑥好きな曲（歌手など）

配偶者がビートルズの箱オシなので、ビートルズ研究家の藤本国彦氏を招いて小平市内で“エンジョイ・ザ・ビートルズ”というサークルで企画運営のサポートをしています。年に一度「小平ビートルズDAY」を行っていますが、3回まで迎える事ができました。

⑦好きな映画

TOP GUN 2作がその映画配給のストーリーも含めて好きです。

Top Gun: Maverick では人生の終わり方について考えさせられました。

⑨あなたにとってロータリーとは？

日頃のボランティア活動の延長のような所もありますが、東京小平RCでは「親子でガーデニング」のように子どもたちと関われる場があるのが楽しいです。



二瓶 直樹

所属：東京武蔵野

昭和27年1月20日会津若松市生まれの東京都武蔵野市育ちです。少年期にはボーイスカウトで育てられ、大学を卒業してからは、講談社グループで約25年強営業畑で全国を股にかけ様々な方々との出逢いに人生の肥しとなり得ました。同時に20代より約半世紀間、少林寺拳法の修行をさせて頂きました。50歳からは一念発起して株式会社吉祥寺総合物流を立ち上げ、この1/20で満73歳を迎えます。ロータリークラブは8年目を迎えようとしております。68期目のクラブ会長職を拝命してから人生を振り返りますと、総てが人と人との「出逢い」と「精神修養」の連続でした。総ての皆様へ感謝しかございません。人生は「引き、運、力」と申しますが、今後も天職である「物流業」と「人材紹介業」を軸に、生涯現役で武蔵野市のいちロータリアンとして職業奉仕、社会奉仕に勤しんで参ります。

意志ある所に道あり！ 合掌



中島 慶貴

所属：東京青梅

生まれは青梅市、育ちは羽村市、現在は住まいも事業所も青梅市です。現在、一般住宅の建築を中心とした建設業を営んでいます。私の父が大工として創業して56年、会社として設立して51年となります。私は二代目です。大工としての父は大変仕事熱心で職業を通じて地域に奉仕するという想いの強い人です。その様な父に幼い時からいろいろな教えを頂き、今の自分が存在しています。父はロータリーの入会こそ有りませんでした、父こそ「真の職業人」だと確信しています。父の背中を見てロータリーの「職業奉仕」という言葉がストンと腹落ちしています。「職業奉仕」については中々難しい事ですが、自分の「今の仕事を次世代に繋げる」という想いも「職業奉仕」だと考えています。ロータリーの「職業奉仕」は私の源です。これからも明るく楽しい東京青梅ロータリークラブの為に邁進してまいります。



森 健輔

所属：東京浅草

祖父が浅草で明治39年に始めた、舞台の緞帳の昇降開閉や迫り回り舞台といった劇場、ホールに設置される舞台機構と呼ばれる機械の設計施工保守の会社を亡兄の後を継いで経営しています。よく舞台美術や大道具と間違われますが建築工事のときに据え付ける大がかりな機械設備で、このような仕事をする会社は世界で30社あるかないかでしょうか。その亡兄が生前、東京浅草ロータリークラブの会員だったことで、2010年にお誘いいただき入会しました。それまで業界の付き合いばかりでしたので、地元の人達との接点はほぼ皆無。ロータリーという知らない世界に馴染めるのかどうか不安がありました、片意地張らない気さくな会員ばかり。親睦を通して知らず知らずのうちにロータリーライフを楽しめるようになり、はや15年経ちました。今では月曜日の例会がこの一週間頑張るぞというスイッチのようになっています。一昨年高齢者となりましたが、末永く元気なロータリアンでいられるよう、仕事も趣味も充実させながら心身ともに健康でいたいと思っています。

第2580地区クラブ数・会員数

2025年2月28日時点 クラブ数 73RC
 正会員数 3,054名 (内女性 340名・10,68%)
 2月の入会者数 17名 (内女性 5名)
 2月の退会者数 18名 (内女性 2名)
 2月の増減数 -1名

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

- 6回 椿原 弘也 【東京西北】
上勢頭 保 【石垣】
- 5回 茂手木 克央 【東京東江戸川】
上勢頭 保 【石垣】
- 2回 伊藤 雅明 【東京西北】
新垣 直彦 【コザ】
- 1回 佐々木 央 【東京西北】
福田 紘一 【東京西北】
藪崎 精克 【東京王子】
田中 保夫 【東京東江戸川】

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

- 林 兼生 【東京西北】
- 寺田 弘晃 【東京東江戸川】
- 瀬下 和洋 【東京東江戸川】

ベネファクター

- 上勢頭 保 【石垣】

ポールハリス・ソサエティ

- 鈴木 義雄 【東京東江戸川】

3月10日まで 敬称略 順不同

謹んで哀悼の意を表します

東京神田 RC

纈纈 公夫 (こうけつ きみお) 会員
 逝去日 2025年2月14日 享年 85
 入会日 1988年5月12日
 有限会社大屋書房 代表取締役
 マルチプルポールハリスフェロー・米山功労者